



山の日と坂折棚田について思う

理事長 田口 譲

8月11日は「山の日」

森林について考える日でした。

坂折棚田は、1600年代に造成が始まり、今日に至っています。1955年(昭和30年)ごろまでは伐木の価格が良かったので、50年先のことを考え、盛んに植林が行われました。その結果、坂折棚田の周辺はスギ・ヒノキの一角になりました。

さて、山林の役割と棚田は切り離すことが出来ません。植林される以前は、棚田に入れる水源としての山林、燃料としての薪、炭焼きの原木、落ち葉は田畑に入れる肥料として利用されてきました。もちろん、落葉樹主体の山林であったと思います。

今日、環境が変わったのと、山林の手入れがじゅうぶんでないことから、水源涵養林としての効果が少なくなり、災害(土砂崩れなど)についても心配されるようになりました。

どうすれば良いのでしょうか。

1. 山林の手入れ(間伐や下草刈り)
2. 針葉樹と落葉樹の混合林にする
3. 棚田の周囲のスギ・ヒノキを伐採し、日当たり良くする
4. 坂折棚田の保全と山林の手入れは同時進行が理想



いずれにしても経済投資を欠くことができません。

例えば、数年前、作業小屋(元畜舎)裏の山に植林されていたヒノキが大きくなり作業小屋の日当たりが悪くなってきたので伐採しました。広々とした景色になりました。しかし一年もするとイバラ・ウズバなどつる性の植物が繁茂してきました。これらを刈り取らないと、落葉樹が生えないのです。

このように山の手入れは欠くことが出来ないと思います。

坂折棚田の大切な水源となっている山。災害を防ぎ、空気を清浄化し、心に癒しをもたらす、そんな豊かな山をいつまでも残していきたいと思っています。

山を守る取り組み 140haを水源の森に！

2013年11月に、中野方町とコカ・コーライーストジャパン株式会社(現コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社)、恵那市、岐阜県が締結した『水源の森づくりに関する協定』を結び、森林づくりの取り組みを行っています。後世に豊かな森を残し、木曽川水系上流部の水質資源保全、森林保全のために、坂折棚田上流域の森林140haを2020年までの7年間で水源の森に整備します。

10月から2月までの冬の間、「森の作業員」が枝切り、間伐、木の搬出などを行っています。



山を守る取り組み 「木の駅プロジェクト」をご存知ですか？

「山を手入れしながら、地域を元気にしよう！」と、恵那市中野方町で 2009 年 12 月から始まった社会実験です。間伐した山の木を出荷すると、地域のお店で使える地域通貨「モリ券」がもらえます。「道の駅」で規格外の野菜も売れるように、「木の駅」では市場に売れない木も出荷できます。



山仕事の素人でも気軽に参加でき、仲間が広がり、山がきれいになり、地域のお店も元気になるという素敵なプロジェクトです。参加しているおじさんたちは、軽トラとチェーンソーで山仕事をし、稼いだモリ券で晩酌を楽しんでいます。子や孫の代まで、安全な山、安心して暮らせるまちを残していきたいという思いで取り組んでいます。

さかおり棚田米の予約販売が始まります



このように手入れされた山からの水が棚田の美味しいお米を作ります。

いよいよ稲刈りの季節になりました。さかおり棚田米の予約販売が始まります。興味のある方はお問い合わせください
(0573-23-2032 坂折棚田保存会)

第 13 期オーナー制度 始まりました！

みんなで田植え 5 月 26 日～27 日

お天気にも恵まれて、今年も田植えが大盛況のうちに終了しました。二日間でのべ 254 名の棚田オーナーと里山くらぶメンバー、そして 50 名の子どもたちも参加しました。地元農家の方々も 47 名が指導役で参加して、田植えをとおして交流を楽しみました。



田植えを通して棚田の保全活動



大勢の方が集まってくれました



地元の方が指導スタッフとして協力

第2弾作業は草取り 6月30日～7月1日

雨が心配されましたが、ほとんど降られることもなく、梅雨時期とは思えない蒸し暑い二日間でした。雑草が稲より大きくなれば日当たりが悪くなり成長が阻害されます。草取りも重要な田んぼのお仕事です。

オーナーの方に楽しんでもらえるよう、里山の体験を企画しました。

中野方の家庭の味「朴葉寿司」を食べたり、朝ドラ『半分青い』で話題になっている五平餅作り体験も行いました。他にも権現山ウォーキング、案山子作りや野菜作りにも挑戦！好きな体験に参加して、里山を満喫しました。



不動滝やさいの会の朴葉寿司



オーナーが自分で五平を握って、U字溝で焼きました。



山伏岩から望む棚田の全景は一見の価値あり



昔ながらのワラを使った案山子



トマトの脇芽取り作業のお手伝い

田の神様に豊作を祈って

6/2(土)晴天のなか、「田の神様灯祭り」が 500 名以上の来場者をむかえて、盛況のうちに終了しました。棚田に並べた 1,000 個以上の灯火が幻想的な光景を見せてくれました。評判の棚田を練り歩く提灯行列には 57 名の参加者があり、さらに浴衣の女性陣も加わり、華やかで風情あふれるお祭りとなりました。来

場いただいた方々、1,000 個のろうそくを並べていただいたボランティアの方々、さらに交通誘導等の運営をお手伝いしていただいた方々にお礼を申し上げます。



7/15 草刈り ありがとうございました

毎年恒例の草刈りを行いました。会員や理事など 15 名が参加して、なごみの家周辺や耕作放棄地の草刈りを行いました。おかげですっきりしました。保全活動へのご協力ありがとうございました。



8/5 会員研修会

恵那市坂折棚田保存会は、NPO 法人に認定されて 10 年になります。

そこで、久しぶりに会員研修会を開催しました。

理事長がこれまでの経過と今後の課題をはなし、その後、会員の皆さんと意見交換を行いました。

活発な意見交換が行われ、なごみの家に併設するカフェ「お茶番処」を活用して、多くの方が坂折棚田に足を運んでもらえる仕組みをつくっていきたいという意見が多くでした。

お知らせ

●第 24 回全国棚田サミットに行ってきます！

9 月 8 日（土）～9 日（日） 長野県小谷村に 15 名が参加します。坂折でサミットがおこなわれたのが平成 15 年の第 9 回の時。15 年も前。月日が経つのは早いです。

●きのこ収穫体験参加者募集中

10 月 14 日（日）午前 10 時～ きのこを収穫し、採れたてきのこを炭火で焼いて食べるきのこ収穫イベントを行います。参加費は大人 2,000 円 高校生以下 1,000 円（昼食代込み）が必要です。小さいお子さんも楽しめる内容です。興味のある方はお問い合わせください。

●石積み塾参加者募集中

10 月 27 日（土）～28 日（日） 約 400 年の歴史を有する「坂折棚田」の石積みの中で、痛いんでいる箇所を崩し、新たに積み直しをします。伝統の棚田石積み技術の基礎講座と実習体験です。興味のある方はお問い合わせください。

●県道 402 号（七宗線）が通行止めが 10 月まで延期

8 月末までを予定していた坂折棚田につながる県道 402 号（七宗線）の終日通行止めが 10 月まで延期になりました。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いいたします。

●保存会会員募集中 保存会の主旨にご賛同いただき、会への加入をお願いいたします。

年会費 正会員 3,000 円 賛助会員 1,000 円 法人会員 10,000 円

NPO 法人恵那市坂折棚田保存会 電話/ FAX:0573-23-2032 携帯:080-1553-0315

E-mail: info@sakaori-tanada.com ホームページ : 坂折棚田

検索

